

CLUB

NO. 511

NEWS

事務局

444-0856 岡崎市六名一丁目5-6 小野盛光

ono511@m4.catvmics.ne.jp Tel & Fax (0564-51-9992)

<http://home1.catvmics.ne.jp/~ono511/index>

かってオリエンティアは夏をどう過ごしてきたか

そして今年は



調布サマーOLキャンプ 成績表

主催 調布オリエンテリングクラブ

ところ 山梨県 八ヶ岳・周辺

とき 平成4年8月12日~14日

暑い日本の夏はオリエンテリングに適さないとお考えのクラブ員の皆さん、過去にはどんなことが行われてきたのでしょうか。夏でも快適にオリエンテリングを楽しむには高いところへ行く、北へ行くと、そうすれば涼しくなるということがとっさに頭に浮かびます。

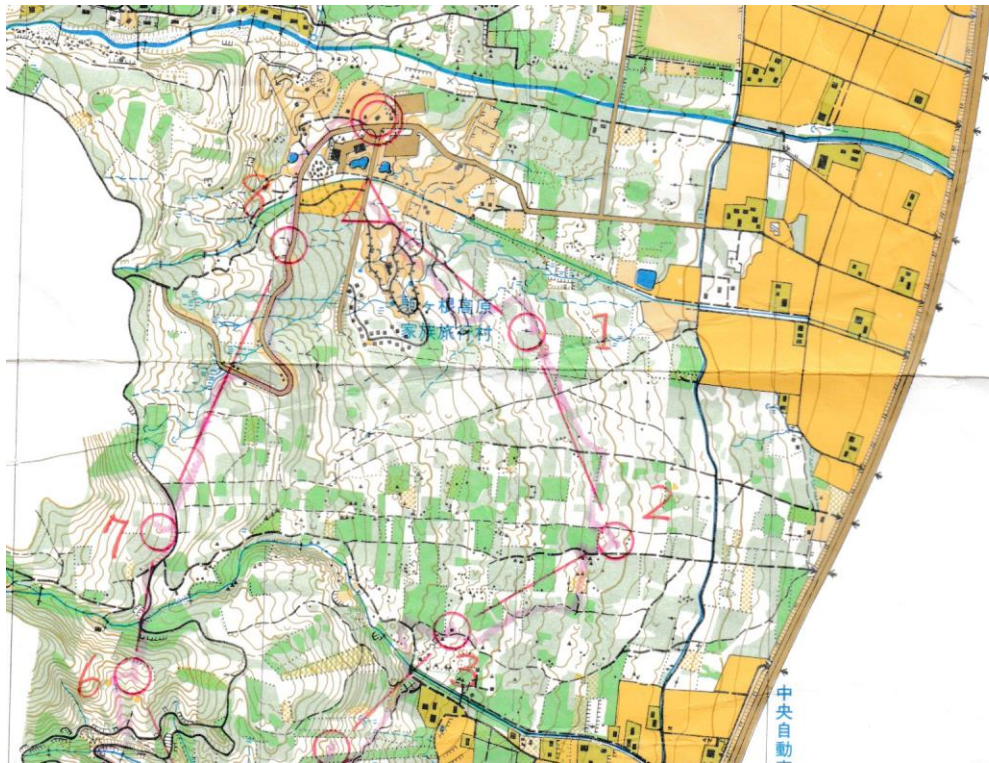
1990年代は高原での夏合宿が真っ盛りでした。その一つ1992年8月には東京の調布OLCサマーキャンプが八ヶ岳で開催されました。

練習メニューは12日午後がフリーポイントOL

13日午前が宝探しOL 13日午後がリレーOL、3人のリレーでしたが、他のお二方のお顔は全く思い出せません。14日午前がフォトOL、これは写真を見て、地図上でどこかを当てると記憶していますが、6人組で行い、11チーム中最下位でした。



同じ年、8月22、23日に駒ヶ根高原で、恒例の東海地区オリエンテリングクラブ連絡協議会の夏合宿が行われました。



L A		4, 300	
1	32	▲	→
2	36	∩	
3	38	▲	2X3
4	40	∩	
5	42	↓	∩
6	43	∩	
7	44	∪	1
8	M	/	∪

○-----350-----◎

コースはテンプレートと赤ボールペンを使って、○を書いて、定規でレグ線を書くという手書き、デフはゼロテープで貼り付けでした。

95年8月には練馬 OLC サマーオリエンテーリングキャンプが開催され、関東の方々に交じって、唯一愛知からの参加となった。この時が第7回ということなので、1980年代から継続しているイベントということになる。

このころは長野県オリエンテーリング大会も8月に伊那高原などで開催され、多くの愛好者が楽しんだ。

夏は憧れの北欧へ



一方、北欧などで行われる約1週間にわたる大会に参加する人も多かった。スウェーデンで毎年夏に開催されるO-Ringenには日本から多数の参加があった。年は忘れてしまったが、岡崎市の姉妹都市であるスウェーデンのウッデバラで開催されたことがあり、三河 OLC の安齋さんご夫妻、平山さん、小幡さん、尾和さんが、市長さんを表敬訪問された。

私の海外 OL はオセアニアや香港などで正月前後に開催されたアジア、太平洋オリエンテーリング大会（大会名はしばしば変更されている）へ参加していた。夏の大会は96年にスイスで開催されたSwiss O Week という6日間大会のみで、この時、たまたま小幡さんと一緒になった。

今年もやります サマーO 8月20日(土)

愛知県新城市 つくでB&G海洋センター集合 受付10時 申込締切 8月10日
参加料 一般1200円 学生700円 三河 OLC クラブ員は無料 申し込みはJOYから

クラブ員の活躍

orienteering.com から

7月2日 愛知健康の森 東海・関西・北信越・中四九学連スプリントセレクション 併設

M0-1 6位 前田裕太 10位 岩瀬史明 W0 3位 角岡 明
 7月16日 新潟オリエンテーリング大会 2022in 津川
 Day1 スプリント ML 34位 角岡明 WSwoc 3位 角岡明 Day2 ML ミドル 77位 角岡明
 ミドル
 7月23日 駒ヶ根 東海・関西・北信越・中四九学連ロングセレクション 併設
 OME1 ⑩前田裕太 ⑫石山良太 OMA②高田朋輝 ⑨角岡明 OWA⑬蟹江凱 ⑭小幡昭次

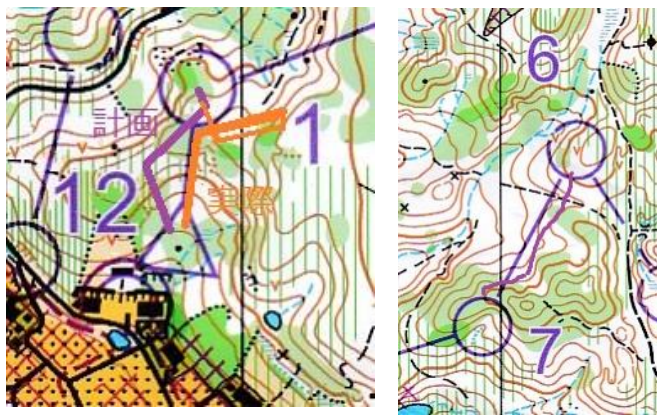
コントロールに問題があった全日本リレー大会

6月12日岐阜県で開催された全日本リレーオリエンテーリング大会は大きなロスを多くの参加者が犯している。その原因は発見しにくいところに置かれたコントロールにあった。この問題はJOAでも認識された。

XV-B、R3コースのレッグ所要時間 赤：30分以上 黄：10分以上30分未満 青：10分未満

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位
△→1	青	青	黄	黄	青	黄	赤	黄	青
1→2	青	青	青	青	黄	黄	青	赤	黄
2→3	青	青	青	青	青	青	青	青	青
3→4	青	青	青	青	青	黄	青	青	青
4→5	青	青	青	青	青	青	青	青	青
5→6	青	青	青	青	青	青	青	青	青
6→7	青	青	青	青	青	青	赤	青	赤
7→8	青	青	青	青	青	青	青	青	青
8→9	青	青	青	青	青	青	青	青	青
9→10	青	青	青	青	黄	青	青	黄	青
10→11	青	青	青	青	青	黄	青	青	黄

① はスタート直後で地図に馴染んでいない状態で、地図から受ける尾根、沢のイメージとは少し異なり、尾根上ではぼやーとした地形であるうえ、笹の中に隠れて発見しにくい設置状態であった。私の場合は第3走者であったこともあり、踏み跡に引きずられ、方向にずれが生じたこともあり、鞍部や北側のコントロールがある尾根が判別できなかった。



⑦はしたらオリフェスで大きな沢をコンタリングして進むという体験が生きて尾根越えを所定の箇所で行えたが、コントロールが木の影で近づかないと見えないという問題があった。穴の中、笹の影など見難いコントロールが多かった。Bコースは問題コントロールが多かったのか、Aコース、Cコースに比べタイムが悪く、私のタイムは他コースでは5、6番目にあたる。

編集後記

4月10日静岡県民大会会場の静岡県のエコパへ行きました。大会へは時間の都合で参加できなかったのですが、お子様2人づれの渡中さん夫妻などにお買いできました

行った目的は今後の中日東海大会のありかたについて、東海4県で相談するためですが、帰り際、先ほど若くして亡くなられた大野隆久さんの奥さん徳子さんから隆久さんが静岡県経済農業連合会みかん園芸部発行の「柑橘」に毎月寄稿・連載されていた「大野君のみかん作り日記」を一冊にまとめた本を頂きました。

広げてみると、みかんづくりの日々の苦勞がしのばれました。私も小規模ながら、イチジクという果樹を生産している農業者として、害虫の防除などなど共通する苦勞で共感するところがいっぱいでした。隆久さんの頑張りに頭が下がる思いです。